

# 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 (JGKA)



2017年10月23日(月)

1

## 一般社団法人日本ガス石油機器工業会 (JGKA)の概要

- 会長：小林 一芳  
(株式会社コナ 代表取締役社長)
- 設立：1961(S36)年4月3日
  - 千代田区神田多町2-11
  - 会員数：98社（ガス石油機器及び関連部品の製造及び販売会社並びに賛助会員）
  - 目的：ガス・石油機器産業の健全な発展を図り、もって国民生活文化の向上とわが国産業の発展に寄与することを目的とする。



2

# 事業概要

製品安全事業

製品安全化への対応

需要促進事業

ガス機器、石油機器の需要拡大

省エネ・環境事業

省エネルギー・環境問題への対応

標準化推進事業

測定方法の標準化および基準の策定

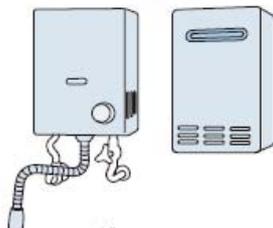
情報調査事業

事業推進に係る情報収集・発信活動

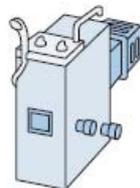
# 主な取扱製品

## ガス燃焼機器

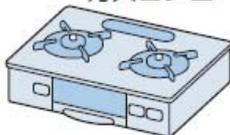
ガス給湯器



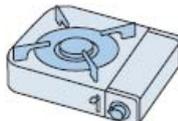
ガス風呂釜



ガスコンロ



カセットこんろ



ガス炊飯器



ガス暖房機

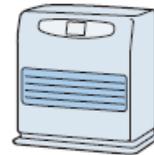


ガス栓・ガス接続器具

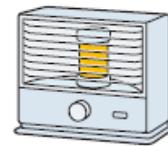


## 石油燃焼機器

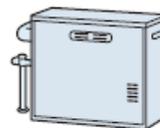
石油ファンヒーター



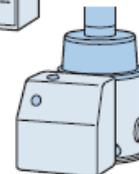
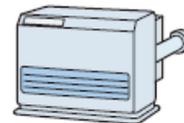
石油ストーブ



石油給湯機



石油FF式暖房機



石油ふろがま

# 高齢者・障がい者対応設計委員会 について

## 設立目的

ガス・石油燃焼機器の「**高齢者・障がい者配慮設計ガイドライン**」を制定し、業界として統一的なルールを決めることによって、配慮設計内容の違いによる使用者の戸惑いを防止し、**配慮設計機器の一層の普及**を図っていくことを目的に、ワーキングを設立した。

## 設立時期、委員構成

当工業会のガス・石油機器の業務委員会及び技術委員会の関係者にて平成21年5月に「**高齢者・障がい者対応設計ワーキング**」を編成し、活動を開始した。

平成25年2月に本部委員会として「**高齢者・障がい者対応設計委員会**」に名称変更。

## 委員会活動について

### 1) 高齢者・障がい者配慮設計ガイドラインの制定

- ・「高齢者・障がい者配慮設計ガイドラインーガス・石油燃焼機器の操作性」

### 2) 関連団体との連携

- ・共用品推進機構 A D C、家電製品協会 U D 技術委員会など

### 3) 研究機関などとの情報交換（交流会）

- ・2017年－神戸芸術工科大学 プロダクトインテリアデザイン学科

### 4) 国際福祉機器展 2017 出展

- ・2017/9/27～9/29

「高齢者・障がい者配慮設計ガイドラインー  
ガス・石油燃焼機器の操作性」

Guidelines for older persons and persons with disabilities-  
Usability/Operability gas/kerosene appliances

第4版

2010年 3月 2日 制定  
2012年 12月 18日 第2版  
2016年 6月 14日 第3版  
2017年 6月 23日 第4版

目次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
3.1 アクセシブル・デザイン	1
3.2 機能障害	2
3.3 活動の制約	2
3.4 ユーザー	2
3.5 使いやすさ	2
3.6 代替様式	2
4. 配慮項目	2
4.1 視覚情報に代わるもの	2
4.2 聴覚情報に代わるもの	3
4.3 発作の防止	3
4.4 操作スイッチ類の位置とレイアウト、持ち手の付け方	4
4.5 色とコントラスト	4
4.6 情報、警告、スイッチ類の表示に適した文字や記号の大きさと形	4
4.7 文字や音声による情報はわかりやすい言葉	4
4.8 図記号と絵文字	4
4.9 言葉以外の音声における音量と周波数(報知音)	4
4.10 速度を抑えた情報提示(報知光と音)	4
4.11 使いやすさ	5
4.12 表面温度	5
4.13 簡単でわかりやすい適切な手順	5
4.14 表面の材質(滑りにくさと触感)	5
4.15 音響	6
4.16 素材の難燃性	6
附属書 A (参考) 凸点及び凸バーの寸法及び形状	7
解説	解 1

研究機関等との情報交換

神戸芸術工科大学 プロダクト・インテリアデザイン学科  
教授 相良二郎

認知症の方のための音声の有効性と課題

音声による促しは効果的

状況を伝え、指示や命令をしない。

考え判断させる事で認知機能を維持

誰の音声かは重要

・家族：怒られているような感じ。

・肉声よりも感情が入らない合成音声が良いかも



## 国際福祉機器展H.C.R.2017出展

会期：2017年9月27日（水）～9月29日（金） 10:00～17:00  
会場：東京ビッグサイト東展示ホール

ガス、石油燃焼機器の製品安全を向上させる工業会の取組み、さらに、機器の安全な使い方、高齢化社会に向けたユニバーサルデザインの製品などを紹介

また、最新の製品の紹介を通し、私たちの生活をより豊かに彩る「快適ライフ」を提案

3日間の総入場者数：121,528人  
弊会ブース来場者数：1190人

## 高齢者・障がい者への配慮設計の取組み

誰もが安心して安全に使用できる製品の開発を目指し、業界全体で取り組んでいます。

「高齢者・障がい者配慮設計ガイドライン」を制定し、業界の統一ルールを決めることで、安心して使用できる配慮設計機器を商品化して、一層の普及を図っています。

**視認性向上**

**操作性向上**

**音声ガイド**

視認性の向上

操作パネル

現行品



新製品



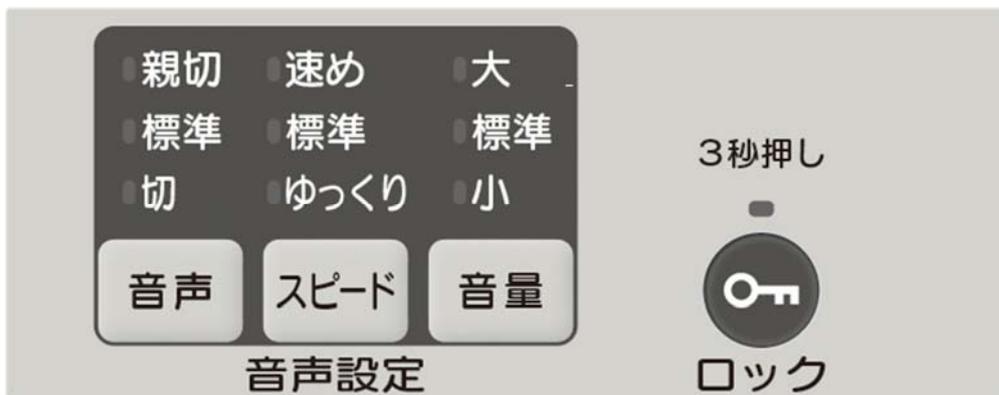
点火ボタンを  
濃い色に変更



LEDが光った時の  
視認性向上

音声ガイド

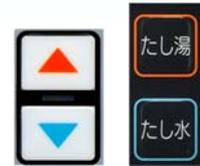
音声の **音量** **速度** 調節可



やすさ

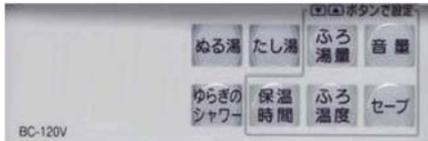
- ひと目でわかる色使い

色によって簡単にイメージ  
 温かく = オレンジ ▲  
 冷たく = ブルー ▼



- グループ分けによるわかりやすさ

入浴中に利用されるスイッチを色分け



- 温度表示と操作の組合せを1対1で上下にレイアウト

給湯とふろ温度を別スイッチで設定



音声とLED表示でサポート(使いやすさ)

- 音声・音でフォロー

- ① 操作した内容がイメージできる確認音



- 運転入メロディー      ピロリロリン ↗
- 運転切メロディー      ポロリポリリン ↘
- 温度UPメロディー      ピロリン ↗
- 温度DOWNメロディー      ポロリン ↘
- SW受付ブザー      ピッ
- SW受け付け無効ブザー      ピッピッ

- ② 音声内容を充実

操作した内容が音声で復唱(確認)する = 安心感  
 優先操作の意味・切替方法をサポート

ガスの料金を表示します

給湯温度が台所リモコン優先です

電源が入りました/切ります

長押しすると時刻が早送ります

優先スイッチを押して下さい

41°Cでお風呂に自動でお湯を入れます

視認性の向上

石油ファンヒーター

